

南房総市立富山国保病院の経営改善状況について

南房総市立富山国保病院は、平成 31 年 4 月より従来の療養病床 12 床を一般病床に転換し、一般病床 47 床、感染症病床 4 床の計 51 床の病院となりました。

一般病床 47 床は令和元年 5 月から「地域包括ケア病床」として運用しており、リハビリを強化し在宅復帰を目指す急性期と回復期を併せ持った機能を充実させております。

また、地域医療連携推進法人「房総メディカルアライアンス」を社会福祉法人太陽会運営の「安房地域医療センター」と設立し、各病院の機能を分化し、医療技術者の融通並びに、相互の患者紹介を強化してきております。

このことにより、当富山国保病院の病床利用率は向上しつつあり、さらに入院患者 1 人あたりの単価も向上したため、経営は改善しております。

以下に、病床利用率と、医業収益の推移を示しますが、令和元年度については推計値となります。

病床利用率の推移

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
病床利用率	59.1%	61.9%	65.6%	68.6%

医業収支の推移

(単位：千円)

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
医業収益	420,709	379,008	376,282	483,052
内入院収益	254,769	243,846	241,826	346,593
内外来収益	115,483	104,869	104,365	105,557